

# 農業試験場水稻試験圃の生育状況(令和元年)

農業試験場八重森圃場(標高348m)

調査時期	調査項目	あきたこまち				コシヒカリ				風さやか(参考)			
		前年(H30)	平年	本年(H31)	平年差	前年(H30)	平年	本年(H31)	平年差	前年(H30)	平年	本年(H31)	平年差
移植後 20日	主稈葉数(枚)	6.3	6.6	6.0	-0.6	6.7	6.7	6.2	-0.5	6.6	6.8	5.4	-1.4
	草丈(cm)	24	28	25	89.4	31	30	26	84.8	30	31	24	76.9
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	178	199	172	86.3	228	223	147	65.8	221	239	158	65.9
移植後 30日	主稈葉数(枚)	7.5	8.6	7.5	-1.1	7.9	8.3	7.5	-0.8	7.8	8.4	6.9	-1.5
	草丈(cm)	29	36	27	75	35	37	29	80	33	36	26	73
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	288	448	316	71	372	465	301	65	379	525	299	57
移植後 40日	主稈葉数(枚)	9.1	9.9	9.3	-0.6	9.4	9.8	9.4	-0.4	9.4	9.9	9.0	-0.8
	草丈(cm)	39	52	39	76	46	51	43	85	40	43	37	84
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	591	608	586	96	622	679	612	90	649	726	642	88
幼穂形成期	期日(月日)	7/6	7/6	7/8	+2	7/13	7/12	7/16	+4	7/17	-	7/18	-
出穂期	期日(月日)	7/26	7/27	7/30	+3	8/3	8/4	8/7	+3	8/7	8/8	8/11	+3
成熟期	期日(月日)	9/5	9/7	9/10	+3	9/13	9/14	9/18	+4	9/19	9/23	9/24	+1
	稈長(cm)	88	87	80	92	95	95	95	100	85	82	80	98
	穂長(cm)	18.7	18.6	18.2	98	18.1	18.5	19.0	103	17.2	17.0	17.5	103
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	463	487	478	98	480	498	551	111	476	473	473	100
	玄米重(kg/a)	70.2	65.5	70.8	108	60.9	62.2	65.7	106	74.2	72.2	74.8	104
	千粒重(g)	21.9	21.6	21.0	97	21.4	21.5	21.3	99	21.9	22.7	21.6	95

平年値：平成24年～30年のうち収量最高、最低年を除く7中5年の平均(風さやかは平成26年～30年の平均)

移植期：令和元年5月20日、苗質：中苗、移植法：1株3本手植え、栽植密度：22.2株/m<sup>2</sup>(30cm×15cm)

平年対比は収量の最多、最小を除く7中5年の値との比較値。玄米重は1.85mm篩データを使用。

<概要>

移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」ともに葉数、茎数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。

移植後30日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」ともに葉数、茎数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。いずれの品種においても生育の進展が平年、前年に比べても緩慢である。

移植後40日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」ともに葉数、茎数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。前年の同時期の生育量とほぼ同等である。

幼穂形成期は平年よりやや遅れた。6月中旬～7月中旬にかけて低温気味に推移した影響と考えられる。

出穂期はいずれの品種も平年より3日遅れた。

「あきたこまち」では、成熟期は平年より3日遅く、稈長がやや短く穂長、穂数は平年並みであった。「コシヒカリ」は成熟期は平年より4日遅く、稈長、穂長は平年並み、穂数はやや多かった。「風さやか」は成熟期は平年より1日遅く、稈長、穂長、穂数は平年並みであった。

「あきたこまち」では穂数、千粒重がやや少なかったが、一穂粒数が多かったことで全体の収量は平年より多くなったと考えられる(参考：総粒数43180、登熟歩合75%)。「コシヒカリ」では穂長、穂数が平年より大きく収量は平年より多かった(参考：総粒数54377、登熟歩合71%)。「風さやか」では千粒重がやや小さかったが、平年より穂長が長く、粒数が多かったことから収量は平年より大きくなったと考えられる(参考：総粒数41859、登熟歩合73%)。